

ぐっすり眠っていただきたい。 第4号(H.21 5A)

柴田ふとん店
豊橋市二川町新橋76
TEL 0532 (41) 0190
営業時間 AM 9:00 ~ PM 7:00
定休日 日曜日

ふとん屋のひとりごと

台湾羽毛研修に行ってきました。

こんにちは、柴田ふとん店です。いつもご愛顧ありがとうございます。少し前になりますが、3月16日~19日の日程でメーカー主催の台湾羽毛研修に行ってきました。残念ながらご招待ではなく自費ですが、全国のふとん屋さん27名で2ヶ所の羽毛工場とガチョウの飼育場を見学してきました。工場といっても羽毛ふとんを製造するのではなく、羽毛を洗浄処理する工場です。



羽毛というとヨーロッパを連想しますが、日本の原羽毛の輸入量の約80%が台湾と中国なんです。理由は日本の羽毛検査規準に適合する設備の有無と、洗浄に適した良質の硬水の豊富さなどのようです。そのためヨーロッパや世界各地から羽毛原料が集まります。実際にいっしょに行った大阪のふとん屋さんが、昨年ヨーロッパの工場を見学に行ったのですが「全然違う!」とおっしゃっていました。

特に南誠羽毛という会社は羽毛の処理技術や品質向上にかけると情熱が世界NO.1と言われているようですが、立派な設備はもちろんです。徹底した努力には驚きました。羽毛は一次洗浄と二次洗浄で合計14回も水洗いを繰り返して、洗剤にもこだわっているようです。作業員は頭から足先までおおい、汗が羽毛に混入しないようにしています。また環境にも配慮し、汚水処理施設も完備されています。羽毛は最後に磁石が並んだ筒のような装置を通りますが、この装置は同行した人も知っていません。世界でこの会社にしかないそうです。中を見ると細かい鉄粉がついていました。この羽毛以外はこんな鉄粉が入っているのかもしれないと思うとビックリです。



(屋外飼育のガチョウは野鳥の侵入を防ぐ(病害対策)ネットで守られていました。)

ここまで徹底的に精製されて日本に来るのですが、当店がおすすめするイワタの羽毛はまださらにキレイにする世界特許技術(イオソアルファ-2処理)を施してから、製品に仕上げられていますので、安全に安心してご使用いただけます。水洗いだけでは落とすことのできないゴミや不良羽毛、損傷羽毛を極限まで取り除いています。こういう羽毛ふとんこそ自信を持っておすすめできるといふ確信をもち、帰国しました。

お伝えしたいことがありすぎて、中途ハンプな内容になってしまいました。すみません。

だんだんと暖かくなってきました。
毎年の夏のベストセラー

本麻パット「褥」

を今年も
よろしく願います。

麻は最も涼しい天然素材です。
抱えきれないほどの麻わたを1cmまで
圧縮したシートを2枚重ねています。
驚くほど汗を吸い、
背中のムレを防ぎます。

(今回のテーマ)

羽毛ふとんはどうして

あんなに値段が違うの？



現在、販売されている羽毛ふとんは1万円以下から30万円、50万円、中には100万円、200万円というものまであります。100万円以上するものはアイダーダックという希少性で価格が高いものですので例外としても、ふとんは中身が見えないので余計にわかりにくいものです。そこでウシカントンにご説明したいと思います。大きく分けて3つ

① 羽毛の成熟度 ② 羽毛の精製度 ③ 樹脂、薬品の使っていない生地

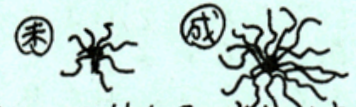
(① 羽毛の成熟度) …… どれだけ大きくしてから採取しているかです。

元々、羽毛は副産物です。食肉にするために飼育されていて、その残りがふとんの原料として使われます。羽毛が成熟するのを待つにはエサ代や人件費が余分にかかります。さらに肉が固くなれば高値で売れなくなります。

通常アヒルで45日、ガチョウで90日の飼育で食肉に加工されます。その時期だと体は大きくなっていきますが、羽毛は成熟していません。実はこの頃の成熟していないダウコが市場に多く出回ります。

しかしその後、鳥たちは羽毛が生え変わります。子供の歯が大人の歯にはえ変わるように。それまでのダウコよりも約3倍大きくなります。そこでダウコを成熟させるためには最低でも、アヒルで70日以上、ガチョウで150日以上の飼育が必要です。成熟ダウコと未熟ダウコでは保温性、耐久性が全く違ってしまいます。(こんな感じですよ)

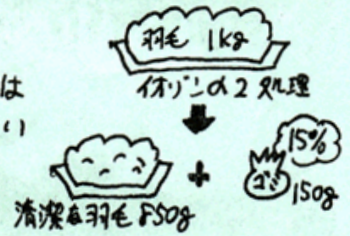
また一般的にダック(アヒル)よりもグース(ガチョウ)の方が高級とされていますが、成熟したダック80%の方が未成熟なグース95%より優れている場合もあります。(羽枝が長く密度が高い)



(② 羽毛の精製度) …… どこまでキレイにしているか。

工場見学のところでもふれましたが、羽毛は何度も水洗いされ、さらに100度以上の温度で熱風乾燥されています。それでも湿度の高い梅雨時などには臭いが臭くなることがあります。(特に守価な羽毛ふとんではよくあります。)

臭いの原因は羽毛に付着した鳥のアカヤフケです。これは水洗いだけでは完全には落とせないのです。臭気防止のために薬品処理をしたりしますが、それでは人体への影響が心配です。当店では薬品などを使わずに不純物を取り除く特殊処理(イオンα2処理)をした羽毛ふとんをおすすめています。この特殊技術を使うと不純物だけでなく、通常の羽毛ふとんではダウコとして使用されている未熟羽毛や損傷羽毛も取り除くため、15%以上がゴミとして除去され清潔で質の高い羽毛になります。



(③ 樹脂、薬品の使っていない生地) …… 羽毛の呼吸を妨げない。

一般に羽毛ふとんの生地は吹き出しを防ぐために樹脂加工(極端に言うとビニール加工)がしてあり、羽毛本来の吸湿、発散性を阻害してしまいます。そのため冬でも汗をかくというムレやすいおふとんになってしまいます。また紫外線や水によって劣化するのをご目干しや水洗いができない表示がされています。おふとんは毎日汗を吸うので、目干しや水洗いは必要です。